

## 令和3年度「ほっかいどう未来チャレンジ基金・応援事業」の実施状況

令和3年12月22日（水）

## 1 概要

道内外の企業・団体、個人から幅広く寄付をいただき、官民が連携して北海道の未来を担う人材育成を図るため、平成28年12月に「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を創設。

この基金を活用して、北海道に貢献する意欲ある若者の海外留学のチャレンジを支援する「ほっかいどう未来チャレンジ応援事業」の取組を平成29年度から実施し、令和2年度まで26名の海外留学を支援。

## 2 基金の状況

(単位:件、千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	計	参考 R3
①寄附件数	24	37	50	47	33	延191	24
②寄附額	17,400	18,875	24,033	12,860	8,245	81,413	6,522
③道費積立	15,600	1,400	1,000			18,000	
④利息収入	1	9	25	44	49	128	
⑤執行済額	0	9,518	11,540	8,100	0	29,158	
⑥基金残高	33,001	43,767	57,285	62,089	70,383		

※⑥基金残高＝②寄附額＋③道費積立＋④利息収入－⑤執行済額

※参考 R3は令和3年11月30日現在

## 3 基金残額

70,383千円（令和2年度末）

## 4 助成実績

・助成実績（平成29年度～令和元年度） 26名、38,336千円 3カ年平均12,778千円

・1人あたり助成額（平成29年度～令和元年度） 4コース全体 1,474千円

学生留学1,412千円、スポーツ1,151千円、文化芸術1,580千円、未来の匠1,220千円

(上段:助成者数、下段:助成額)

	H29	H30	R1	R2	計	参考:R3
学生留学	5名 4,636千円	4名 7,360千円	4名 6,360千円	感染症の 影響により 募集中止	13名 18,356千円	1名 980千円
スポーツ	3名 4,760千円	2名 3,180千円	3名 2,420千円		9名 10,360千円	
文化芸術	1名 980千円	1名 2,420千円	1名 1,340千円		3名 4,740千円	1名 1,940千円
未来の匠	1名 1,460千円	2名 2,260千円	1名 1,160千円		4名 4,880千円	
計	10名 11,836千円	9名 15,220千円	7名 11,280千円		26名 38,336千円	2名 2,920千円

※H29-R1の学生留学コース助成額の1/2、参考R3学生留学コース助成額の1/3は国交付金

## 5 令和3年度の実施状況

令和3年度のほっかいどう未来チャレンジ応援事業は、コロナ禍で海外への留学が不透明な状況なこともあり応募者は学生留学コース2名、文化芸術コース1名の計3名にとどまった。書面審査、面接1次、2次審査を実施し、最終的に2名を4期生助成対象者として決定。4期生の海外留学は国の対応に準じて文化芸術コースの1名がポーランドへ留学、学生留学コースの1名は留学を延期。

### (1) 選考経過

コース	応募者	書面・面接1次審査	面接2次審査	最終選考結果
学生留学	2名応募	2名通過	2名通過※	1名
文化芸術	1名応募	1名通過	1名通過	1名
計	3名応募	3名通過	3名通過	2名

※学生留学コース面接2次審査通過者2名のうち1名辞退

### (2) 助成対象者（4期生）

コース	氏名（年齢）	留学先（期間）	留学の概要
学生留学	大久保 辰哉 （21歳）	オーストラリア （4カ月）	オーストラリアの子ども向けスポーツプログラム運営方法を学び、本道の子どもをスポーツで元気にする活動を目指す。
文化芸術	北 浦 由花里 （25歳）	ポーランド （12カ月）	ポーランド国立ショパン音楽大学大学院修士課程でポーランド音楽の研究と質の高いピアノ演奏技術を習得し、本道とポーランドの架け橋となり世界に通用するピアニストの育成等を目指す。

### (3) 海外留学の取り扱い

#### ① 文部科学省、日本学生支援機構の対応

文部科学省、日本学生支援機構は、留学先の感染防止対策、ワクチン接種や感染症対応の保険加入等の安全対策を図った上で、①海外大学等の学位取得を目指す留学、②大学間交流協定等に基づく9カ月以上の留学について、感染症危険レベル2（不要不急の渡航は止めてください）及び3（渡航は止めてください）の国・地域への留学支援を再開。また、感染症により留学が難しいため支援する留学期間を1年間（令和4年12月31日まで）延長。

#### ② 4期生の海外留学

国の海外留学の支援再開を踏まえ、ほっかいどう未来チャレンジ応援事業においても、国の対応に準じた留学支援を実施。現時点では次のとおり対応。

##### ・ 学生留学コース 大久保 辰哉 氏

留学先のオーストラリアは、感染症危険レベル2で、また入国制限中のため留学を延期。令和4年12月末までの間に感染症危険レベル1になってから留学予定。

##### ・ 文化芸術コース 北浦 由花里 氏

留学先のポーランドは感染症危険レベル3であるが、国の対応に準じて安全対策を図った上で、国立ショパン音楽大学大学院（修士）での学位取得のため令和3年10月29日から留学。

#### ③ 参 考

##### ・ 3期生 文化芸術コース 北海道特派員 清水 柚衣 氏

令和元年度みらチャレ3期生としてハンガリーに留学。引き続き北海道特派員として留学を継続し、現在リスト音楽院修士課程2年生としてピアノ演奏や音楽を学ぶほか、コンクールにも出場。